

Press Release

H
A
K
U

日中のHAKU、誕生。 「HAKU 薬用 日中美白美容液」 光を浴びる時間も味方に

～2022年1月21日(金)発売～

資生堂は、16年連続美白美容液市場売上No.1^{※1}の美白ブランド「HAKU」から、「HAKU 薬用 日中美白美容液(医薬部外品)(販売名:HAKU メラノフォーカス UV)【全1品 参考小売価格 4,800円(税込 5,280円)】を2022年1月21日(金)に発売します。

*美白は、メラニンの生成を抑え、シミ・そばかすを防ぎます。

*価格は参考小売価格です。(店舗によって異なる場合があります)

◆「HAKU 薬用 日中美白美容液」(医薬部外品)は、シミ予防研究の先端技術を搭載し、日中ならではの美白ケアを可能にした日中美白美容液です。光を浴びる時間も味方にして、うるおって明るく透明感のある肌に導きます。

◆資生堂初、新乳化技術^{※2}によりこれまで達成できなかった2種の美白有効成分(4MSK^{※3}、m-トラネキサム酸^{※4})の配合と紫外線防御最高値 SPF50+・PA+++を両立した処方を採用しました。

◆さらに日中の肌環境に着目し、W デイエフェクター^{※5}(保湿)を配合。肌にうるおいを与え整えます。

◆トーンアップ効果で明るく透明感のある仕上がりへ。また、ファインレッドパールαが効果的に光を放ち、シミや色ムラを目立たせません。

※1 インテージ SRI 美白美容液市場 2005年1月～2020年12月 金額シェア(美白以外の機能を兼ね備える商品は除く)

※2 下記原料を組み合わせることで応用した新乳化技術

ポリオキシエチレン・メチルポリシロキサン共重合体、セバシン酸ジイソプロピル、低温焼成酸化亜鉛、含水ケイ酸、メチルポリシロキサン、

1, 3-ブチレングリコール

※3 4-メトキシサリチル酸カリウム塩 ※4 トラネキサム酸 ※5 エクトイン、サンショウエキス、グリセリン



【商品一覧】

全1品

商品名	分類	容量	参考小売価格
HAKU 薬用 日中美白美容液 (医薬部外品) 販売名:HAKU メラノフォーカス UV	薬用 日中美白美容液	45mL	4,800円 (税込 5,280円)

* 価格は参考小売価格です。(店舗によって異なる場合があります)

【HAKU 薬用 日中美白美容液 (医薬部外品)】

発売背景

シミ悩みユーザーにとって、シミ対策の2大重要アイテムは、「美白美容液」と「紫外線防御アイテム」であり、特に日中は紫外線防御アイテムによるお手入を重視しています。かつ、HAKU美白美容液ユーザーのうち、約8割の方が紫外線防御アイテムを使用していることが分かりました。(2020年6月～2021年5月 SLI シミ悩みあり×美白美容液購入者)また、シミは日中に作られ濃くなるという意識から、日中は美白ケアに期待できず、紫外線防御アイテムで紫外線から守るしかないと思っていることが分かりました。(2016年8月実施 SLI 意識調査)

そこで「HAKU」は、100年を超える資生堂のシミ予防研究と先端技術を活かし、美白ケアと紫外線防御最高値 SPF50+・PA++++を搭載した「HAKU 薬用 日中美白美容液」を開発しました。日中の肌環境を整えるWデイエフェクター^{※5}(保湿)と2種の美白有効成分を活かし、日中だからできる美白ケアを可能にします。

※5 エクトイン、サンショウエキス、グリセリン

プロモーションと販売チャネル

2022年1月下旬より順次、プロモーションを展開します。販売チャネルは、ドラッグストア・GMS・化粧品専門店など約19,000店です。あわせて、資生堂の総合美容サイト「ワタシプラス」などのECサイトでも販売します。

美白美容液と日中美白美容液でもっと攻めの美白ケア

「HAKU 薬用 美白美容液」ユーザー100名が、日中美白美容液を併用した結果、99%の方が「ダブルで使用すると、一日中隙のない美白ケアができる」と回答しました。さらに、96%の方が「ダブルで使い続けたい」と回答しており、美白美容液と日中美白美容液の併用により、もっと攻めの美白ケアができると感じていることが分かります。(当社調べ 2021年8月～9月 35歳～69歳の女性の HAKU 薬用 美白美容液ユーザー100名が HAKU 薬用 日中美白美容液を併用して回答した割合。)

【モニターの声】

- ・両方の相性がよく、ダブルで使うことで、もっと美白ケアできると感じました。ずっと使用したい気分です。
- ・手軽なステップで朝～晩まで美白対策できるのでオススメです。
- ・今後のシミ予防に期待できるし、ダブル使いの安心感がすごくある。
- ・日中美白美容液も使うと、明るくツヤが出て、顔全体が輝いている感じがします。肌に少し自信が持てました。

【商品概要】

※価格は参考小売価格です。(店舗によって異なる場合があります)

商品名・容量・価格	商品特長
<p>HAKU 薬用 日中美白美容液 (医薬部外品) 販売名:HAKU メラノフォーカスUV 45mL 4,800円(税込 5,280円) SPF50+・PA++++</p> 	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; text-align: center;"> <p>日中のHAKU 光を浴びる時間も味方に 日中だからできる美白ケアのアプローチ。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; margin: 5px 0;"> <p>2種の美白有効成分(4MSK^{※1}、m-トラネキサム酸^{※2})</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; margin: 5px 0;"> <p>日中の肌環境を整える W デイエフェクター^{※3}(保湿)</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; margin: 5px 0;"> <p>S ヒアルロン酸(保湿)^{※4}</p> </div> <p>○2種の美白有効成分を肌の奥まで届け効かせる。</p> <p>○日中の肌環境に着目し、Wデイエフェクター^{※3}を配合。うるおいを与え整える。</p> <p>○ファインレッドパールαが効果的に光を放ち、シミや色ムラを目立たせない。 トーンアップ効果で、明るく透明感のある仕上がり。</p> <p>【仕上がりがイメージ】[※]効果には個人差があります</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; text-align: center;"> <div data-bbox="718 918 845 952"><塗布前></div> <div data-bbox="1149 918 1276 952"><塗布後></div> </div>  <p>○みずみずしい美容液がスーツとなじむ。</p> <p>○ファンデーションのつきやのりをよくする化粧下地としても使えます。</p> <p>○無香料・アレルギーテスト済み・ニキビのもとになりにくい処方。 (全てのかたにアレルギーが起きない、ニキビができないというわけではありません。)</p> <p>※1 4-メトキシサリチル酸カリウム塩 ※2 トラネキサム酸 ※3 エクトイン、サンショウエキス、グリセリン ※4 アセチル化ヒアルロン酸</p> <p><使用法></p> <p>○毎日の朝のお手入れの最後にお使いください。</p> <p>○手のひらに1円硬貨大よりやや小さめの量を取り、顔の5カ所(両ほお、額、鼻、あご)に円を描くように塗り広げます。顔の中心から外側に向かって、顔全体にしていねいになじませます。最後に手のひら全体でフィットさせます。</p>  <p>○使用量が少ないと、十分な紫外線防御効果が得られません。</p>

<使用順序>



HAKU美白美容液との併用で、もっと攻めの美白ケアをしてみませんか？

「HAKU」ブランドサイト <https://www.shiseido.co.jp/haku/>

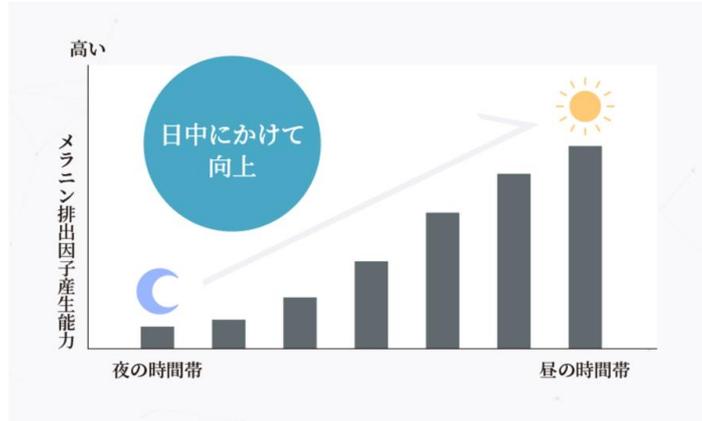
「HAKU」Instagram haku_shiseido

「HAKU」Twitter @ haku_shiseido

「HAKU」LINE @haku

日中の肌環境に着目

資生堂はこれまでも、日中の肌環境に着目し研究を進めてきました。その結果、メラニン排出をもたらす正常なターンオーバーに欠かせない因子(メラニン排出因子)は、日中にむけてその産生が向上することを突き止めています。この肌が本来持つ力をサポートすることこそが、守りではなく、日中ならではの積極的なシミケアに重要だと考えています。



シミ部位特有の肌状態

資生堂は、シミを「メラニンの生成」という現象だけではなく「メラニンを含む肌全体のエラー」と捉え、シミ部位の肌で起こっている、正常な肌とは異なる皮膚生理について、長年研究を進めてきました。今回、シミ部位では正常なターンオーバーに必要なメラニン排出因子が少なくなっていることに着目しました。



メラニン排出因子の産生を高める環状アミノ酸 E・ミカン科植物抽出液

シミ部位においてメラニン排出因子が少なくなっていることを受け、資生堂ではその産生を高める成分を探索しました。研究により、環状アミノ酸 E とミカン科植物抽出液がメラニン排出因子の産生を高めることが分かりました。

